

# 花粉発生源対策プロジェクトの推進

(H22年度予算 174百万円、7,085百万円の内数)

スギ花粉症は今や国民の4人に1人が罹患しているといわれており、花粉発生源対策を進めていくためには、

- ・スギ苗木生産量に占める少花粉スギ等花粉症対策苗木の割合は平成20年度で4%(H18:0.6%→H19:2.2%→H20:4.2%)であり、地域のニーズに応じた花粉症対策品種の開発の加速化と苗木の生産体制の整備等により少花粉スギ等の苗木供給量の増大を図ることが必要。
- ・また、首都圏近郊等を中心に、花粉の多いスギ林を少花粉スギや広葉樹林等に転換していくことが必要。

少花粉スギ等の生産体制の整備

## 【花粉症対策品種開発技術高度化推進事業】

うち、遺伝子組換えによる花粉発生制御技術等の開発事業 64百万円

遺伝子組換え技術を用いた花粉発生制御技術等の確立

うち、花粉症対策品種開発促進事業 17百万円

人工交配による無花粉スギの作出と無花粉形質の早期判定技術の開発等

## 【ミニチュア採種園等緊急整備事業(森林・林業・木材産業づくり交付金) 7,085百万円の内数】

ミニチュア採種園等の整備の推進

## 【優良種苗供給促進事業のうち、広域連携優良苗木確保対策 45百万円】

郷土樹種の適切かつ効率的な生産手法の普及、先駆的な育苗技術の指導等



ミニチュア採種園

少花粉スギ等の苗木供給量を増大し、少花粉スギ等への転換を促進

スギ花粉飛散量の減少

花粉の少ない森林への転換の促進

## 【森林環境保全総合対策事業のうち、スギ・ヒノキ花粉発源地域推定事業 40百万円】

(1)地方の都市部へのスギ花粉の飛散に影響している発源地域の推定

(2)ヒノキ雄花の観測技術の開発等

## 【優良種苗供給促進事業のうち、花粉症対策林整備推進事業 8百万円】

首都圏近郊等のスギ人工林の少花粉スギ林や広葉樹林への円滑な転換に必要な調査・連絡調整等

## ※花粉の少ない森林づくり資金(H20年度基金造成)

首都圏近郊等の花粉の多いスギ林を伐採して少花粉スギ等へ植替えを行う森林所有者等に対する林種転換協力金(20万円/ha)の交付